



島根県立
津和野高等学校
TSUWANO HIGH SCHOOL

学 校 案 内
2 0 1 5

夢見る君を支えたい

ここにしかないものがたくさんある





CHAPTER 1

ここにしかないものがたくさんある

津高の魅力



ここにしかない！

夢見る君のために津和野高校ができること

訪れた外国人観光客に英語でガイドすることで活きた英会話を習得する。災害で閉鎖された駅舎で復興のためのコンサートをする…。津高には、ひとりひとりの個性や潜在力を引き出すことができるチャンスや取り組みがいっぱいあります。



塾で英語の授業と自習サポート「町営英語塾 HAN-KOH」



津和野町が津高生のために高校内の建物に英語塾を設置！塾の講師、スタッフは津和野町が東京からスカウトしてきた実力者揃い。塾の運営費用は津和野町がすべて負担し、今年度は生徒・保護者の負担はゼロ。津和野高校の全校生徒の約半数が塾に通い、塾ができてから学校全体の勉強に対する意識が高まっています。今後、授業の内容・コースとともにさらに充実していくとのことで、町内・町外から注目を集めています！



津和野を外国の方に紹介しよう「英語で観光案内！プロジェクト」

実は津和野は外国の旅行者に人気の観光地！去年は津和野を訪れたフランスの学生を、有志の津和野高校の生徒たちが英語で観光案内しました。生徒たちは、先生とともに1ヶ月間みっちり練習をして、見事に3時間の案内をやりきりました！参加した生徒の英語のコミュニケーション力は大きく伸び、英語の勉強に対するモチベーションも大きく高まりました。

一対一で分かるまで教える「放課後マンツーマン指導」

津和野高校の先生たちはみんな教育熱心！放課後に質問にいくと、職員室前の特設スペースでマンツーマンでじっくり勉強を教えてくださいます。この個別指導で受験の難問に挑んだり、苦手科目を克服する生徒も多数！津高生の学びの原動力になっています。



駅のホームに津高生の楽器の音色や歌声が響き渡る！2013年7月の集中豪雨で不通になったJR山口線の復旧と「町の人を応援したい！」という気持ちを込めて、駅のホームを使ったコンサートを生徒が中心になって企画しました。

津和野駅ホームでコンサート「駅のステージ」





CHAPTER
2

ここにしか
ないものが
たくさんある

トップ
2は
大先輩



実は
津高OB!

校長先生・教頭先生対談

バレーばかりしていた運動部員と、単語帳必携の猛勉強生徒が母校で校長と教頭に……。タイプは違えど津高DNAをもつ二人に、今の学校について語っていただきました。

「この場所ががんばれたことは、
10年後、きっと大きな財産になる。」



宮本善行校長

昭和51年3月、津和野高校卒業。
大学時代は、ボート部で活躍。
教育モットーは、「感動が人を動かし、
出会いが人を変えていく」。

宮島忠史教頭

昭和57年3月、津和野高校卒業。
大学では、中国哲学史に没頭。
教育モットーは、「凡事徹底」。

—先生方はお二人とも津高出身ですよ？どんな高校生だったのですか？

校長：ずっとバレーをしていましたね。入部当時10人以上いた同学年が、三年生になって私一人になってしまいました。はじめは就職しようと思っていたのですが、県総体が終わってから中学生たちの練習を見るようになって、それがきっかけで教員になろうと思いました。

教頭：勉強ばかりしていました。時間をかけた後すぐに成績が伸びたので、それが楽しくてのめりこみました。そのせいでいつも単語帳持って歩いてる変な奴、みたいな風に言われました(笑)。でも、周りにも一緒に頑張る仲間がいっぱいましたよ。

—津高生の魅力とは？

教頭：県内の他の高校と比べて非常に身だしなみがいいです。そして、これは津高に来た先生方皆さん仰っていることなのですが、この生徒は素直です。素直ってというのは、その分伸びしろがあるということだし、教える側をその気にさせる。自分たちの生活時間を割いても伸ばしてやろうという気になりますね。

校長：手を差し伸べたくくなりますよね。

教頭：確かに引っ込み思案で奥手なところはあるけど……

校長：かえって奥手な方がいい。その方が大学に行ったときにぐーんと伸びる。大人になってもピュアな人は可愛がられますしね。

—では、津和野高校の魅力とは？

教頭：体育祭が県内一だと思っています。競技の中身がよく練られているし、一人一人の出番も多い。20人つなぐって行く百足競争なんてそうそうありませんよ。

校長：津高には本当に様々な生徒が集まっています。コミュニケーション能力や自他を認め合う力が必要だといわれていますが、津高はそうした力を鍛えるにはうってつけの場所です。この場所で頑張れたことは10年後、きっと大きな財産になります。

教頭：文部科学省で活躍されていた元官僚の方が「津和野高校は日本の高校の原点だ」と仰っていました。多様な生徒が共存していて、都会の学校のように均質な人間の集まりではない。こういう学校で生き抜いたり、リーダーシップを発揮したりしてこそ底力が養われます。

校長：自分をしっかり持っていない人はどこに行っても潰れてしまいますからね。

—どんな生徒に入ってきてほしいですか？

校長：「津高で何かを成し遂げてやろう！」という気概を持った人に入ってきてほしいです。みんなが医学部に行くような学校よりも、こういう津高みたいなのに入って、ものになる。そっちの方が私はカッコいいと思うのですが……

「素直で、その分、伸びしろがある」

教頭：今の人たちにはちょっと馴染みのない考え方かもしれませんがね(笑)。

校長：外に目が向くのも大切ですが、地元や自分の故郷を大事にする人に、是非入ってきてほしいです。

—中学生たちにメッセージをお願いします！

校長：「自分が津高を変えるんだ！」という意気込みを持って、入ってきてほしい。そうすれば僕たちがなんとかするから。

教頭：最初から「何とかしてよ」じゃなくて、「自分はこれをするんだ」という思いがあれば道は拓けます。

校長：自分の能力に自信がない人もいるかもしれませんが、能力なんてものは鍛えればあとからついてきます。ただ単に高校に入学して、3年間を過ごし、大学に行く、就職をする、という流れに漂っているだけでは気が付かない、「あなたが津和野高校にいることの意味」を教えてくださいと思っています。皆さんを待っています。これに尽きます。





CHAPTER 3

ここにしか
ないものが
たくさんある

熱い 教師陣



学ぶ君を全力でサポート！

中山間地の小規模校と侮るな^{あなど}かれ。津高には、ジャンルも経歴も魅力いっぱい先生たちがたくさんいます。君の学ぶ「やる気」と「力」をもっと引き出し、パワーアップさせます。

学力向上に効果抜群！

「町営英語塾 HAN-KOH」やっています

千葉慶太郎先生

学校の先生とは一味違ったオーラを放つ講師や、真剣に自習に取り組む仲間の姿など、町営英語塾は皆さんにとって新しい体験をたくさん積める場所になっています。入試を目指す人にも、中学英語の復習をしたい人にもそれぞれに見合ったオリジナル教材と授業形式を採用しています。「自分なんか塾に通っても…」と気後

れする必要は全くありません。「塾って楽しい」「勉強って楽しい」そう思ってもらえるような塾を作っていきます。



羽多野悠子先生

津高の夏の祭典で一致団結！

「JAMで感動」やっています

JAMは部の枠を超えて吹奏楽部・合唱部・美術部、さらには校外からのゲストや教員が一体となって作り上げる、夏のお祭りのような行事です。文化部のOB・OGには一緒にステージに立ってもらいますし、そうでなくてもJAMに来れば、高校時代の同級生に会える、同窓会のような雰囲気もあります。参加者全員でステージに上がって演奏するフィナーレは毎年圧巻です。見て楽しい、参加するとさらに楽しいお祭り。それがJAMです。一緒に青春しませんか？



疑問はその場で即・解決。

「充実の少人数指導」やっています

福満尚先生

1人から3人の生徒を相手に対話形式で授業をしています。一人一人の理解度を確認しながら進めることができますし、とても質問しやすい環境なので疑問に思ったことをすぐその場で解決することができます。授業では難しい言葉を使わずにわかりやすく説明することを心がけています。「遺伝」の分野は苦手としている人が多いようですが、私の授業をうければ……（にやっ）。津高に入ったあかつきには一緒に頑張りましょう！



津高生の前向きな姿勢に応えたい！

「力をつける添削」やっています

中島紀子先生

何人かの生徒の対一指導や添削に付き合っています。とても楽しいです。前向きに、意欲的に取り組む姿勢を毎日見せてもらっています。こちら絶対力をつけてやろうという気になりますし、できないことができるようになった、分かるようになったという生徒の姿を見ると、また頑張ろうという気になります。津高のために自分にできることを精いっぱいやっていこうと思います。



アイデアと実行力で

「津高生の全力応援」やっています

中村純二先生

昨年度は、フランス人留学生に英語で町内を案内する「つわの英語ガイド」、国際地域交流クラブによる伝統芸能「鷺舞」の習得、水害で不通になった駅をテーマに問題解決のためのアイデアを考える「すてきな駅舎プロジェクト」などを行いました。高校に当たりはずれがあるのではなく、高校生活が面白くなるかどうかは自分でどうにでもできることです。津高は、「楽しい高校生活を作りたい！」と願うみんなを全力で応援します！





CHAPTER 4

ここにしかないものがたくさんある

津高生の声



津高のイチオシ！！

きめ細かな選択コースと手厚いバックアップ。就職にも、進学にも、長年の確かな実績が津高の強みです。そんな津高の「イチオシポイント」を現役3年生に教えてもらいます。



岸田 隆紘くん

Q. 今のコースに進もうと思った理由は？

卒業したら就職し、自立して自分の事は自分で出来るようになりたいと思っていたからです。また、就職先に少しでも貢献できるような人材になりたいと思ったからです。

Q. 自分の選んだコースならではの授業はどのようなものがありますか？

簿記、ビジネス、商業技術があり、簿記では2年で3級、3年で2級の範囲を学び、ビジネスではビジネスに必要な基礎知識を学び、商業技術では電卓を使って計算したり、パソコンを使ってタイピング練習などもします。また、これらの科目で取得できる検定資格がいくつかあります。

Q. 津高の良いところは？

生徒の人数が多くないので先生方と関わる機会が多く、勉強、部活、進路についてどれにおいても手厚く指導してもらえるところが良いと思います。津和野高校は学習環境に恵まれ、空気がとても新鮮です。

Q. パンフレットを読んでいる中学生に向けてメッセージをお願いします。

津和野高校ではJAMや鍛錬行事など他の高校にはない行事があります。特に鍛錬行事では、萩か

ら津和野までの約50キロを歩くのできつくて大変ですが、それを乗り越えることで学べるものがたくさんあると思います。最後に、津和野高校はのびのびとしていて過ごしやすいので、ぜひ津和野高校へ来てください。



勉強、部活、進路。どれも手厚く指導してもらえます。



河野 葵さん

Q. 今のコースに進もうと思った理由は？

文理選択では迷いました。歴史や国際関係のことに興味があったため一年生の頃は文系に気持ちがか傾いていました。しかし、農業や生物系のことも面白そうだと思ったし、志望校の二次試験の科目との兼ね合いもあり、理系に進むことに決めました。

Q. 進路実現に向け、普段の学校生活では何を意識していますか？

きちんと自己分析をして、無理のない計画を立てることです。「これを達成した！」という喜びを一つでも多く味わいたいと思いながら、今も試行錯誤中です。

Q. 津高生で良かったなと思うのはどんな時？

先生方が非常にこまやかな指導をしてくださる時です。私の「この問題集をやりたい」「こういう力をつけたい」などというかなり細かい要望にも丁寧に対応して下さいます。特に数学の中島紀子先生(6ページ)には1年生の頃から添削指導で大変お世話になっています。いつでも私のわがままを聞いてくれる優しい先生です。

Q. パンフレットを読んでいる中学生に向けてメッセージをお願いします。

津高は確かに規模は小さいですが、その分自分のやりたいことが他校よりも実現しやすい学校だと思います。勉強や部活にとどまらず、例えば海外の学校と交流したいとか、今までに無い学校行事を

増やしたいとか大きい学校だと一人では言い出しにくいような要望にも熱意を持って協力して下さる先生がたくさんいらっしゃいます。役場の方など外部にも力になって下さる方がいらっしゃるの、自分で考えて積極的に行動する人にとっては、可能性が大きく広がる場ではないかと思います。



自分で考えて行動すれば、可能性が大きく広がる。

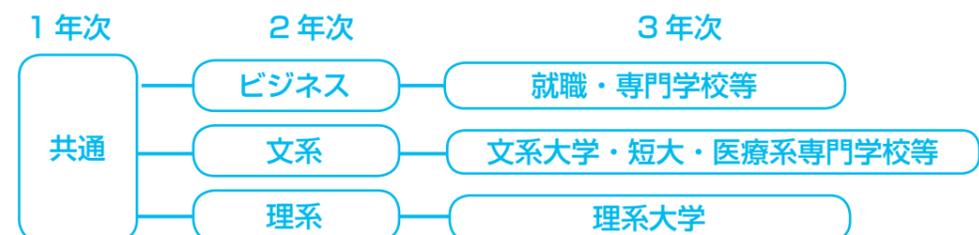


1年	1組	34名	学年計
	2組	34名	
2年	1組	23名	53名
	2組	30名	
3年	1組	24名	47名
	2組	23名	

合計 168名



希望進路によって2年生からコースを選べます。





CHAPTER 5

ここにしかないものがたくさんある

卒業生のエール



先輩に聞く津高の魅力

目の前にひろがる、未来というどこまでも限りない大海原。津和野高校は、いわばその出航準備の場ともいえます。一人ひとりの可能性を見据え、夢の実現を応援しています。

進学した先輩

宮島伸枝 さん (2014年春卒業)
島根大学医学部医学科 1 回生

—高校での勉強と部活の両立はどうでしたか？

ちゃんとやっていれば大丈夫です。先生が宿題を出してくれるので、それをちゃんとこなして、自分で理解すれば、両立はできると思います。

—2年生のときの文理選択では、理系コースを選択されましたね。理系は、文系よりいろんなことを勉強すると思うのですが、難しくありませんでしたか？

難しいところもありましたけど、少人数だからすぐ先生に聞けるし。やっぱり先生と近い。先生がそれぞれの生徒がどこまで理解しているとか知ってもらいやすい気がするし、すぐ話せるので……見捨てられはしないと思います！ (笑)。

—津高って人数が少ないから、先生と距離が近い印象があります。

そうそう！津高は、熱心な先生が多いし、遅い時間までよく教えてもらえます。分からなかったら、とことん教えてもらえる。顔もすぐ覚えてもらえます。小さい学校だからこそその良さがあります。先生ととても仲良くなれるという話を大学ですると、「いいなー！」って言われます。

—島根大学医学部に進学した理由を聞かせてください。

私は、お年寄りが好きで、津和野のようなところでもお年寄りが最期を楽しく迎えることに貢献



できたらいいな、と思って医学部へ進学を決めました。3年次の最初から島根大学を志望しましたが、それは地域枠推薦入試に挑戦したかったからです。卒業したあとの研修が、島根県内限定なのも魅力でした。島根大の先生たちとも仲良くなれば、医師になってからも情報交換などできるようになりますから。

—受験に際しては、どんなサポートを受けましたか。

周りの人の支えが大きかったですね。運がよかったのかな (笑)。手厚さがありました。受験時に、論文と感想文の課題があつて、土日まで先生につきっきりで見てもらったり、毎日面接練習をしてもらったりというサポートも受けましたね。医学部志望なので、面接時には、医療情報や関連のニュースを知っておかなきゃいけなかったのですが、私には全然そんな知識がなかったんです。だから、いろいろな先生が新聞持ってきてくれたんですよ。「こんな、ニュースがあつたよ！」って (笑)。すごく助かったし、親身になってくれる先生方だな、と思いました。

—津和野高校に入って、良かったことを教えてください。

津高って、大学に進学する人ばかりじゃなくて、就職する人もいますよね。私にも働きながら学校に行っている友だちがいますが、結構多岐にわたる進路になります。そういういろんな人と出会えるのが津高だと思う。受験のことを考えて高校を選ぶのもいいけど、津高だったら自分と全然違う生活をする人もいて、バリエーションが広いと思うんですよ。周りの子をよく見たら、自分の考え方も柔軟になると思う。この点はとても良かったと思っています。

—ありがとうございました。

就職した先輩

大井裕介 さん (2014年春卒業)
西日本旅客鉄道株式会社

—先輩は、どうしてJR西日本へ就職したのですか。

部活を引退した後の6月末ぐらいに、進路選択について悩んでいました。弓道部の先輩から仕事の様子を聞いて、興味を持ち始めたのがJR西日本への就職を考え始めたきっかけです。お客さんとの接し方や、対応方法、営業や資格を取るための運転法規の勉強など憶えることがたくさんありそうで大変な仕事だと思いましたが、同時にやりがいのある仕事だと感じました。

—就職活動は、どう進めましたか。

担任の先生が企業のパンフレットを持ってきてくださったり、就職活動の方法を教わったりしました。また、就職活動で大いに活用した「すてきな駅舎プロジェクト」も、JRを志望していると知っていた担任の先生から積極的に勧められたので参加しました。就職試験の面接で「すてきな駅舎プロジェクトって何？」と面接官に聞かれ、自分の経験をきちんと話すことができ、とても良かったと思っています。

—「すてきな駅舎プロジェクト」について、もう少し詳しく教えてください。

去年7月28日に津和野を襲った豪雨災害の後、列車の往来がなくなった津和野駅を魅力的な空間にしようとい

う「すてきな駅舎プロジェクト」に関わりました。このプロジェクトでは、大人の社会に実際に入って、問題を解決するために自分たちのアイデアを形にしていきました。実際に、利用客にインタビューしたり、現場を調査したり、駅の待合室を使う人がより過ごしやすくなるようにするにはどうしたらいいか考えていきました。11月には、汽車が来なくなった駅のために自分たちができることをしたい、また被災した人たちに元気づけたいという気持ちから、駅を使ったコンサート「駅のステージ」も企画しました。ステージの司会を担当したのですが、「町民の応援」と「復興への願い」という2つの気持ちを込めた、司会進行を心がけました。

—プロジェクトに参加して、どんな感想を持ちましたか。

今、実際に働いている側になってみて、もし、普段通学で駅を利用している高校生が自分たちの企画したように駅のためにコンサートを実施してくれたりしたらとても嬉しいと感じています。JRの社員になったことで、改めて自分たちが行ってきた「すてきな駅舎プロジェクト」や「駅のステージ」の重要性や大切さに気付くことができましたね。

—では、これからの目標を聞かせてください。

勤め始めて、まだ2か月しか経っていないので、今はまだ毎日わからないことだらけです。自分の未熟さを感じますが、お客さんから見れば自分も駅員の一人なので、早く一人前のJR社員になりたいと思っています。

—ありがとうございました。



毎年多くの生徒が国公立大学に合格。一人ひとりを徹底的にサポートする個別指導が充実しています。

進学実績

過去3年間の合格学校名 (丸数字は人数)
【国公立大学】 広島大②・島根大⑤・山口大⑦・鳥取大③・宮崎大②・徳島大・島根県立大⑩・北見工業大②・室蘭工業大・県立広島大・福岡女子大・新見公立大・下関市立大
【私立大】 立命館大・近畿大⑥・京都産業大・岡山理科大②・大阪薬科大・帝塚山大・神戸薬科大・龍谷大・奈良大②・

山口東京理科大④・安田女子大③・日本赤十字広島看護大・神戸学院大、ほか
【短期大学】 島根県立大学短期大学部③・新見公立短期大学・大月市立大短期大学②・大分県立芸術文化短期大学②
【医療系専門学校】 浜田医療センター附属看護学校③・石見高等看護学院③・島根県歯科技術専門学校③・リハビリテーションカレッジ島根④、ほか

就職実績

津和野高校は確かな就職実績を挙げています。特筆すべきは、第一志望の合否がわかる9月末までの実績。実に県内の平均内定率の倍以上の数字です。その強さの理由は、かつてあった商業科51年の伝統、就

職希望者に対する圧倒的な求人数の多さ、少数の就職者に対しての全教員での支援体制などなど。企業からも、本校生徒のきちんとした服装や生活態度が評価されています。

—過去3年間の主な就職先— (丸数字は人数)

JR西日本②・マツダ・山陰合同銀行・ALSOK・西中国信用金庫②・シマネ益田電子・福屋・自衛隊・山口県警・大阪府警・その他



CHAPTER 6

ここにしかないものがたくさんある

津高の部活



少数精鋭！君に合う部活がきっとある



仲間とともに汗をかき、涙を流し、感動を共にする、貴重な体験。津和野高校の部活動は、まさに少数精鋭。部員数は少ないですが、みんな目を輝かせてボールやキャンバスに向かっていきます。

弓道部

坂崎工 (写真左)

弓道は「的に矢を中てる」というシンプルな競技ですが、「心技体」のすべてが揃わなければ良い成績を上げることができません。その意味でとても奥深いスポーツだと思います。僕は弓道を通じて特に「心」の部分を鍛えることができました。毎日、的に向かうなかで、心を落ち着かせ、神経を研ぎ澄ますということを繰り返し、高い集中力を持続できるようになりました。この集中力は、弓道だけでなく、日々の勉強にも活きていると思います。

僕が弓道を始めたのは高校からで、しかも部活も少人数だったため、最初は自分がどこまでうまくなるのか全くわかりませんでした。でも辛いときも楽しいときも一緒にいる仲間たちや、龍河先生、福満先生、佐山先生の熱心なご指導のおかげで、いまでは250人以上が出場する中国大会でトップ10に入れるほどになりました。いまの目標は、中国大会で個人戦ベスト8に入り、総体でインターハイに出場することです。

【全国大会出場の記録】

- 【野球部】平成 2 年 第 72 回全国高等学校野球選手権大会（夏・甲子園）出場
- 【弓道部】平成 3 年 全国高校弓道選抜大会出場
平成 24 年 全国高校弓道選抜大会出場
- 【合唱部】平成 2 年 全国合唱コンクール第 3 位
平成 8 年 第 11 回国民文化祭とやま '96 出場
平成 13 年 全国高校総文祭福岡大会出場
平成 17 年 全国高校総文祭青森大会出場
平成 19 年 全国高校総文祭島根大会出場
- 【空手】平成 24 年 全国高校総合体育大会出場
- 【かるた】平成 24 年 全国高校総文祭富山大会出場

野球部



陸上競技部



バレーボール部



卓球部



柔道部



ソフトテニス部



美術部



合唱部



吹奏楽部





CHAPTER 7

ここにしかないものがたくさんある

津高生の絆



まだまだある、津高の魅力

高校時代は、感性が研ぎ澄まされ、夢を求めて全力で打ち込める時期。津和野高校では多様な分野を知るための機会を設けるとともに、自主自立の精神を大切に活動を行っています。



文化部合同公演 JAM

津和野町民体育館で合唱部、吹奏楽部、美術部の合同で行われます。卒業生の方や、町内の合唱団、中学生など様々な人たちも参加し、生徒との交流の場ともなっています。



津高祭

津和野高校最大のイベントである津高祭は、文化祭（左）と体育祭（右）を連日開催する学校行事です。

年間行事

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 4月 ●始業式 ●入学式 ●宿泊研修（1年生） | 10月 ●中間考査 ●鍛錬行事 |
| 5月 ●生徒総会 ●中間考査 ●総体壮行式 | 11月 ●期末考査 |
| 6月 ●県総合体育大会 ●期末考査 | 12月 ●終業式 |
| 7月 ●球技大会 ●JAM ●終業式 | 1月 ●始業式 ●学年末考査（3年生） |
| 8月 ●始業式 | 2月 ●寒稽古 ●学年末考査（1・2年生） |
| 9月 ●津高祭 | 3月 ●卒業式 ●終業式 |



鍛錬行事

津高の大きなイベントの一つの鍛錬行事は「学び」と「歩き」を二日間に分けて行われます。萩への約47.5kmの道のりは正直きついです。生徒が保護者や先生方の支え、そして一緒に歩く仲間たちとの絆を感じられる津高生イチオシの行事となっています。

学生寮 つわぶき寮での生活

つわぶき寮は学校まで徒歩1分の立地にあります。千葉県、大阪府、沖縄県など日本全国から生徒が集まっており、現在男子23名、女子14名が落ち着いた環境で寮生活を送っています。部屋は快適な冷暖房完備で、食事は炊事員さんの3食手作りです。寮生と先生によるバーベキュー会などのイベントもあり、寮生たちの楽しみとなっています。こうした集団生活を送りながら、高校生として自立の心が養われています。



この学校案内は 生徒会有志が作成しました。

学校案内は、新入生募集においてとても重要な役割を果たすものです。その制作を生徒に任せられるというのは、学校が生徒を信頼し、自主性を尊重してくれる証拠だと思います。私たちがつくった学校案内で、中学生の皆さんや保護者の方々に津和野高校の魅力を理解して頂ければ、これほどうれしいことはありません。



島根県立 津和野高等学校

〒 699-5605 島根県鹿足郡津和野町後田ハ 12-3 TEL 0856(72)0106 FAX 0856(72)0329
URL <http://tsuwano.ed.jp> E-mail tsuwanokoko@pref.shimane.lg.jp

